



## 花々に囲まれ新入会員交歓散策

総務委員会  
近藤節朗

4月4日、花曇りの日曜日、新入会員交歓散策を開催した。奥多摩駅に10時集合。昨年はコロナのために中止したので、今年は登山教室の6期生と7期生を中心に、新入会員15名が参加。奥多摩町主催の山開きの神事が神社で行われていたが、コロナのために参加出来ず、神事を横目で見て出発。登計園地で開講式を行う。スタッフ6名とともに21名が、春霞の山に向かって出発。

まずは難関の188段の石段をあえぎながら登る。山行が1年ぶりの参加者もいたが、blankを感じさせない足取りだった。五重塔前の広場で休憩。春風が気持ち良い。

愛宕山頂上(507m)、愛宕神社を通り、登計峠で昼食。小雨が降ってきたがすぐ止んだ。森林セラピーロードはウッドチップが敷かれて歩きやすく、ミツバツツジ、コブシ、キブシなどの色とりどりの花が目と心を潤し、大好評だった。

多摩川の河原でワンコイン交流会を行う。缶ビールやジュースなどを手にして乾杯。旧交を温める人、新たな仲間を得た人、和気あいあいのいい雰囲気うちに交歓散策は終了した。「思い出に残る山行になった」と喜ぶ新入会員の声も聞かれた。  
(写真/松田慎一郎)

ミツバツツジも満開



満開のヤマザクラ

### 新入会員から



高岡洋子さん／家にこもりがちな生活だったが、一步外に踏み出すことでこんなに楽しい気持ちになれるとは。皆に会えたら身も心もリフレッシュ！



佐野豪昭さん／季節の植物が生い茂り、自然の豊かさを感じた。ツツジや枝垂れザクラが綺麗に咲いており、感激し過ぎて登山道から足を踏み外しそうに…。



松田慎一郎さん／ヤマザクラやモモの花々、それにムササビの巣なども見て自然を満喫した。気分爽快の山行だった。

多摩川の河川で吊り橋を背に集合写真



## 支部連絡会議

## 2回の会議をオンラインで開催

東京多摩支部長  
野口いづみ

## ZOOM会議の様子

支部連絡会議が2回にわたり、オンラインでZoomを使って開催された。予算、決算、事業などの事務報告以外に、次のような報告があった。

1月30日の会議（2020年度第2回）では、古野会長がJACで1年間に3件の遭難事故が発生しており、安全登山に努めるようにと述べた。野口が当支部の遭難事故について報告した。後半の各支部報告ではコロナ下で事業の推進に影響が

出ている実情が示された。松田千葉支部長が、昨年3月末に緊急事態宣言を受けて山岳4団体が登山の自粛を呼びかけたが、2回目の発令に対する対応について質した。これに対し古野会長は会としての自粛は呼びかけず、各自の判断に任せるとの見解を示した。

4月10日の会議（2021年度第1回）では、古野会長がコロナ下でも今年は昨年と違ってGW中の天気予報を配信すること、JACとしてオンラインで知の財産を発信していくことを報告した。大塚氏は会報「山」や各支部報のバックナンバーを本部HPで閲覧する方法を紹介した。柏理事は北アルプスなどの山小屋の現状の報告、古川理事は山岳保険を推進していく旨の報告をした。

また全国山の日協議会代表の梶氏から山岳基本法が国会で取り上げられたとの報告があり、これは嬉しいニュースだった。

## リーダー研修会

## リーダーの心構え、感染予防対策、体操を学ぶ

3月27日に立川市女性総合センターで、初級登山教室のスタッフを対象としたリーダー研修会が開催された。参加者は14名だった。

前半は、統括リーダーの宮崎紘一氏によって改訂されたハンドブックの読み合わせをし、併せてリーダーとしての心構えや知識、技術の再確認を行った。

後半は、会員の山内ひとみさんがコロナ感染予防の対応と、登山に特化した準備体操と整理体操を紹介した。感染予防対策は参加者に負担がかかるが、コロナ禍でも人生を楽しむためには不可欠と聞き、受講生に丁寧に説明する必要があると感じた。

新しい準備体操は一般的な体操とは異なり、ストレッチベースの優しい動きで、どんな年代の人にも安全に行えるものになっている。実際に体験してみると凝り固まった関節部分が弛緩



体操を指導する山内さん

されて体が軽くなった。

令和3年度の登山教室は「密」を避けるために一つの期を2班に分けて、別の日程で実施することになっている。すべてが手探りの状況でのスタートだが、楽しく安全な登山の仕方を伝えながら、自然や仲間の大切さを体験してもらいたいと思う。それが自立した登山者を育成する、登山教室の目的にもかなうことだろう。

（文/村岡庸こ、写真/中原三佐代）

## 野火止保全活動の1年を振り返って

野火止保全活動プロジェクトチーム  
リーダー 河野 悠二

自然保護委員会は、東京都の野火止用水歴史環境保全地域（小平市中島町）の保全活動を都から承認され、昨年3月から約1年、活動した。まずは自然保護委員12人でヤシ科のシュロの伐採から始めた。シュロは幹が毛で覆われており伐採が大変で最初は苦労したが、慣れてくると楽しくなり、8回の活動で約450本をすべて伐採した。

元々この地は薪炭林のコナラ、クヌギを主体とした雑木林だったので、木は20～30年の大木になっている。このような場合は、種子から芽生えさせる実生(みしょう)が難しく、萌芽更新による育成が主になる。萌芽更新とは年を経た樹木の幹を切り、切り株から生えてきた多くの芽を育て、雑木林の若返りを図ること。萌芽更新の育成には20年ほどかかり、長い期間の活動が必要だ。

東京都からの支援をうけ、道具の一部や道具入れの物置を無償提供され、隣接する住居や電線への被害防止のため林縁部伐採、ナラ枯れや危険木



皆でシュロの伐採

冬枯れの雑木林



の伐採、萌芽更新のための伐採、ロープ柵の設置等をした。仲間も20人に増え、2月に支部プロジェクトチームを結成した。

今年度は樹木・生物などの調査活動を推進する。同時に希少種の植物（キンラン、ギンランなど）や、カブトムシなどもいる多様性のある雑木林を目指したい。保全地域の見学や玉川上水・都立薬用植物園の散策も実施する予定だ。

いつでも、だれでも見学や散策ができる場となっているので、是非訪れてほしい。

## 山岳古道調査が活動開始

山岳古道調査PT  
代表 石井 秀典

日本山岳会創立120周年記念事業として「日本山岳会が選ぶ日本の山岳古道120選」が企画され、古道の調査活動が開始された。本部より、経済、信仰、軍事、政治、交通路などで歩かれた山岳古道を文化的、歴史的、地理的な側面から考慮しピックアップする指示があり、当支部では2月幹事会で山岳古道調査プロジェクトチーム（山岳古道調査PT）を結成して、次の3つの山岳古道を選んで本部に提出した。

1. 日原往還と富士信仰の道〔秩父-仙元峠-ヨコスズ尾根-日原-鷹ノ巣山-浅間尾根-小河内〕
2. 鎌倉街道山の道〔秩父-妻坂峠-名栗-小沢峠-軍畑-馬引峠-武蔵増子-戸沢峠-高尾-町田〕
3. 浅間尾根交易の道と古甲州道〔府中-滝山-浅間尾根交易の道（五日市-檜原本宿-時坂峠-浅間嶺-風張峠-小河内）-小菅-牛の寝通り-大菩薩峠-塩山-甲府酒折〕



「山岳古道120選」の選定は、本部が支部等から提出された資料をもとに2021年12月までに決定する。支部は資料収集や調査を実施し、調査ノートを作成する。本部は結果をまとめてホームページ公開、書籍制作を2025年10月までに行う。

支部の活動は調査とノート作成のために、選出した3つの古道に関する文献・資料等を収集し、PTメンバーで勉強会を毎月実施し、地元住民や有識者への取材と踏査を行うことだ。

山岳古道調査PTのメンバー募集中↓こちらにご連絡を  
秩父の無人の山寺      メールアドレス/ [isi@tbb.t-com.ne.jp](mailto:isi@tbb.t-com.ne.jp)

## &lt; 中級登山教室 &gt;

## 赤城山 ー赤城山かと思ったら白城山ー

【日 時】2021年3月20日(土)

【天 候】曇時々小雨

【参加者】8名／講師：宮崎(山行L)、中村(正)、受講生：小澤、中村(敦)、渡辺、山内、石川、長岡

【行 程】8:45 前橋駅=(バス)=9:51 あかぎ広場到着→10:18 おのこ駐車場出発→10:36 黒檜山登山口→猫岩→12:55 黒檜山→大ダルミ→14:26 駒ヶ岳→大洞→15:41 おのこ駐車場(解散)

## 【記 録】

第2期中級登山教室も緊急事態宣言解除に合わせて再始動。日帰りで早朝出発だったが、久々の皆との山行で胸躍る。天気予報も不安定だが、晴れるかもしれないと聞き、淡い期待を抱く。が、電車とバスに揺られ着いてみれば、辺りは白いモヤモヤ。小雨交じりの霧の世界が待っていた。

10:18、出発。久しぶりの山行に小雨はがっかりではあるが、そこは登山教室。大切な経験だと思い直して歩き始める。しばし車道を歩き、10:33、黒檜山登山口(標高1362m)から入山。



霧の中をいざ出発

赤城山(黒檜山)はよく知られる山だが、登山ルートは石の多い急登。しかも今回は小雨交じりの霧模様。滑る箇所が多いため、時には手も使って慎重に登る。そのうち「笹を束にしてしっかり掴むと安定した手がかりになる」ことを学ぶ。そのためにはグローブも大切と再確認。丈夫なグローブを必ず携帯しようメモ。この学びだけでも来た甲斐があった。



手と足を使って登る

標高1550m付近から先はアイスバーンと雪の連続。しかも岩と泥のミックス。今回は「歩行技術」の学習と言いついて聞かせてチャレンジする。

しばらくは、アイゼンなしで登山靴の底全体での摩擦(フリクション)をしっかりと意識しながら、歩く訓練。「普段の山行では今回の様な歩き方を意識していなかった」と反省もした。実際、滑るのが怖くてへっぴり腰になること数回。とにかく難しいし、情けない。



真っ白な赤城山山頂(1828m)にて

標高1720m付近、山頂に近づいてきた辺りで、雪の量も増え、急斜面を直登するような箇所も出てきたため、アイゼン装着。積雪時のアイゼンの有用性を、改めて痛感。アイゼン、スパッツ、ストック、普段から装着の練習をしておくべし。さらにもう一つの学びとして「ザックを滑らせて落とさないように、ショルダーベルト側を下にして、穴を掘っておいたり、ピッケルを使って保持したりする」があった。急斜面の雪面に気楽に置くと、あっという間にザックは奈落の底に、そうなったら命に関わる…とのこと。

もしかして山頂付近だけ晴れたりして…と、かすかに期待していた山頂も、やっぱり真っ白。講師、受講生、皆で「白くてきれいだ」と負け惜しみを連呼して溜飲を下げる。当然ながら風が吹く箇所は寒く、風を避けた場所で昼食休憩。

休憩後は、晴れていれば絶景であろう駒ヶ岳への稜線を歩く。ここでも、上りの際と同じく、足元への意識を忘れずに歩行する。ここからは急な下山路を歩くことになるが、中級登山教室の受講生は難なく下山。久々の中級登山教室の山行であったが、想定していたよりも順調にトラブルもなく終了した。(文・写真/長岡誠治)

## &lt; 雪山を楽しむ会 &gt;

## 会津駒ヶ岳 ー残雪を踏んで大展望の山頂へー

【日 時】2021年4月4日(日)

【天 候】曇り

【参加者】8名 / L 富永、SL 佐藤、鬼村、清水(茂)、中原、西山、斉藤、酒井(眞)

【行 程】5:10 駒ヶ岳登山口→5:50 滝沢登山口→7:50 水場→9:50～10:20 山頂→12:50 駒ヶ岳登山口

## 【記 録】

雪山のシーズンは短いというのに、コロナウィルスの影響で今シーズン初めての雪山である。雪山を楽しむ会では、西吾妻山以来1年振りの山行で、メンバーは雪の上をアイゼンで歩く感触を楽しみにしていた。2年前に鳩待峠から至仏山と燧ヶ岳に登り尾瀬御池へ縦走した後、檜枝岐から会津駒ヶ岳を目指したが、時間切れで山頂まで達せずに引き返しており、今回こそは区切りを付けたいという気持ちがあった。

宿は駒ヶ岳登山口近くの「駒口」。早朝の出発に備え、朝食はおにぎり弁当に代えてもらい、夜明けと共に出発した。傾斜が緩くアイゼンなしで歩ける残雪の上ノ沢を詰め、途中から林道に上がり滝沢登山口に到着。木製の階段を登り10分程で稜線上の平坦地に上がり、ここでアイゼンを装着。ヘリポートに向けて急登が始まる。登りは先頭を行くリーダーのステップに続いて歩けば良いが、雪が緩む午後からの下山では滑落の心配もある。

ヘリポートを過ぎると急傾斜は終わり、淡々と山頂を目指す。雪に埋まった水場付近まで来ると行程は残り半分となり、一步毎に山頂が近づいてくる。左手には燧ヶ岳が、やがて至仏山も見えてくる。当日の天気予報は曇りだったが、

## 会津駒ヶ岳の山頂にて



## 正面に燧ヶ岳、その右手奥に至仏山

時折薄日が差し、登山には上々の天気。標高1900mを過ぎ、駒の小屋と山頂が見えてくると、メンバーの足取りはさらに軽くなる。最後の登りで傾斜が急に緩くなると、360度の展望と共に、雪の上に50cm程頭を出した山頂標識が目に見え込んできた。

深田久弥は、著書「日本百名山」の中で、「頂上は、私が今までに得た多くの頂上の中でも、最も素晴らしい一つであった。」と記し、山頂で1時間以上過ごしている。北西方向には荒沢岳・越後駒ヶ岳・中ノ岳が連なり、目を南にずらすと平坦な山頂の平ヶ岳から景鶴山、至仏山、燧ヶ岳が、さらには日光白根山も望める。2年越しの山頂は風もなく穏やかだった。

たっぷり休憩して写真を撮り下山開始。急傾斜の山は登りで苦労する分下りは早い。予定より早く下山し1便前のバスに乗ることが出来たので、会津高原尾瀬口駅近くの「夢の湯」でゆっくりと温泉に浸かって帰った。

(文・写真/佐藤守 写真/鬼村邦治)

😊 西山さん感想/誰もかれも登山控えをされていて、登り切れるかという思いを抱いていたのではないかと。雪壁のような急登、傾斜が増していく登路、無口になっていく。ただ山頂を踏みたい気持ちは響き合っていた。

## &lt; 低山を楽しむ会 &gt;

## 丹沢・弘法山 —桜越しに大山を眺めてお花見山行—

【日 時】 2021年3月31日(水) 【天 候】 晴れ

【参加者】 12名/L辻橋、SL小清水、SL石塚、岡、佐伯、高橋(重)、高橋(郁)、竹中、田中(清)、富澤、原、本多

【行 程】 10:00 小田急線鶴巻温泉駅→登山口→11:00 吾妻山→善波峠分岐→13:30~50 弘法山→14:30~50 権現山→浅間山→15:30 弘法山公園入口→16:30 秦野駅

## 【記 録】

丹沢山地の南端の標高 200m ほどの尾根をたどる 7km のコースだ。鶴巻温泉の旅館の横を通って、登山口からいきなりの急登を上ると、そこは吾妻山(125m)だ。弘法山に向かって、クヌギとミズナラ、イヌシデなどが混在する美しいアップダウンの尾根道を行く。スマレ類やホタルカズラなど春の花を同定しては写真を撮る。12時を過ぎたので、山道の脇で昼食。

昔の大山詣の道に続く善波峠を分けると上りになり、やっと弘法山山頂(235m)に着いた。弘法大師の木像が祀られた釈迦堂にお参りし、桜を背に記念写真を撮る。馬場道を下ってまた上ると権現山(243m)に到着し休憩。桜越しに、



黄砂に霞む大山

黄砂に霞む大山や表丹沢の山々を遠望。急坂を下り浅間山を通り、狭いつづら折りの山道を下り、「弘法山入口」に到着。ゆったりとしたお花見山行になった。(文・写真/石塚嘉一)



権現山の桜の樹の下で

## 多摩百山・今熊山 —金剛の滝に下り、のらぼう菜を摘む—

【日 時】 2021年4月15日(木) 【天 候】 快晴

【参加者】 12名/GL本多、L石塚、SL小口、SL小清水、河野、佐伯、高橋(郁)、竹中、田中(清)、富澤、原、松川(信)

【行 程】 JR 武蔵五日市駅 9:26⇒今熊山登山口→10:10~20 今熊神社→展望ベンチ→

11:30~12:15 今熊山山頂・今熊神社奥宮(昼食)→13:20~35 金剛の滝→沢戸橋/小峰公園分岐→

14:35 新久保川原橋/沢戸橋→14:45~15:15 本多農園→沢戸橋→16:00 武蔵五日市駅

## 【記 録】

今熊山登山口バス停から歩き始め、今熊神社の遥拝殿を過ぎ、急斜面の参道を今熊山へとゆっくりと上る。左側向こうに木々の芽吹きの新緑のグラデーションが広がり、まさに「山笑うが如く」美しい。30分ほどであきる野市街が展望できる



場所に着き、一休み。さらに刈寄山への道を分けて、今熊山山頂(505m)に到着。

昼食後、金剛の滝を目指して急斜面の道を下る。滝の直下の道は不通。逆沢の河原になんとか降りると、奥に落差 10メートルの金剛の滝が水しぶきを上げていた。川原に戻り、広徳寺・小峰公園への道を分けて、沢戸橋への尾根道を下る。最後は本多農園に寄って、のらぼう菜を袋いっぱい収穫して帰途についた。



農園でのらぼう菜を摘む

金剛の滝の前で

(文・写真/石塚嘉一)

## 書評

## 歌集『熱帯の山 寒冷の国』

伊佐九三四郎著 齊藤かおる評



著者・  
東京多摩支部  
会員

青磁社  
2021/3 刊  
2000 円

伊佐九三四郎氏は1976年44歳で、ボルネオのキナバル山に登ったのを皮切りに、近年まで世界各地の高峰・秘境を精力的に旅しては、紀行・随筆を著してきた。その行き先は、キリマンジャロ、モロッコ、ギアナ高地、パタゴニア、ヒマラヤ、カラコルム、モンゴル、チベットと熱帯のジャングルから寒冷の高山、無人のパンパに及ぶ。

氏の主たる目的は登山や旅を通じて、紀行・随筆を執筆することであるが、旅先の感動を短歌の形式で記録することでもしてきた。

この三月に刊行された『熱帯の山 寒冷の国』は、その短歌を整理・編集した、氏の米寿にして初めての歌集である。あとがきに「海外の山旅にでかけると歌心が湧いてきて…」とあるように、氏の短歌は、旅先の感動がまだ体温を保っている内に書き留められたものだ。

旅先が海外であるため、ほぼ全首にカタカナの単語が入っているのは必然であるが、短歌の調べにカタカナ音が心地よく乗り、作者の真っ新な感動の表現に趣を添えている。氏の明快な作風は万葉集の初期の歌を思わせる。

この歌集を読むと、短歌という日本古来の詩の形式は、どこの、どんな体験であれ、表現可能なのだと感じる。むしろこの形式だからこそ可能だと思えてくる。

巻末のエッセイによると、氏は冒頭にあげた場

豹のかげね頂にねむる  
この山の氷河に立てり輝ける山  
(キリマンジャロ)

碧き湖白き峰あり果て知れぬ  
パンパの原の大きいなる空  
(パタゴニア)

西の果てタシユクルガンの夜の街  
舞踏つづくか樂の音高く  
(カラコルムハイウエイ)

所以外にも、中国雲南省各地、中朝国境・白頭山、カムチャッカ、コーカサス南麓、それに中米のコスタリカ、さらにグリーンランドなど、辺境・秘境の山旅を続けてきた。それがこのコロナ騒ぎで高尾や奥多摩登山もできずに家に籠らざるを得なくなり、これまでに書いて本になっていないものを拾い出していると、「忘れかけていた短歌が出てきた」とのこと。止むを得ぬ蟄居が本書の刊行という喜ばしい実を結んだ。

ここで一首を紹介すると

アフリカの最高峰に我立てり  
ジンジャントロプス原駆けし国

(キリマンジャロ)

「アフリカの最高峰」の語で読者は一挙に高峰に誘われ、広大なアフリカの大地が目の前に広がる。さらに、「ジンジャントロプス」という180万年前の人類の祖先が立ち現れ、彼らが野生動物を追って駆け行く様まで見えてくる。この時空を超えたスケールの大きさ、雄大さは、氏の歌の大きな魅力である。

氏の旅は広範囲に、そして多岐にわたっているが、それでも氏はそれぞれの山の色合い、人々の暮らし様を丁寧に謳い分けている。

世界五大陸を駆け巡ることで得た氏の澄んだ詩情は、今や紙面に安息し、読まれることで放つ香気を秘めて、読者を待っている。

# 登山計画書を提出しましょう

安全対策委員会委員長 石井秀典

安全に登山をするために登山計画書を提出することが必要です。遭難したときに、迅速な救助と無事な救出につながります。しかし、提出されていないと、場所の特定から始めなければならず、捜索開始まで時間を費やすことになり、救出が難しくなるかもしれません。

登山計画書を提出することは最初は億劫かもしれませんが、慣れれば難しいものではありません。まずはこまめに提出するようにしましょう。登山計画書の作成と提出は次の通りです。

## 1. 作成

登山計画書の書式は特に指定はありませんが、下記の様式を参考にしてください。書式は、支部ホームページの会員専用ページからダウンロードできます。必要な事項を記入しましょう。

## 2. 提出

登山計画書は次の3か所、すべてに提出しましょう。

(1)「支部安全対策委員会」へメールに添付して送信するか、郵便にて委員に送る。

メールは : plan-submission@jac-tama.or.jp.

郵送先は : 〒192-0352 八王子市大塚 659-5

安全対策委員会石井宛に。

(2)「留守番担当者」と「参加者の緊急連絡者(家族等)」へ渡す。

(3)「登山地域の管轄警察署」への提出はメール添付か、郵便で送る。提出先は各県警察本部のHPに記載されている。東京多摩地域の警察署は支部HPの会員専用ページを参照のほど。

登山口にある登山届箱に入れておくと何かあった時役にたつ



標準様式

登山計画書(個人山行用) 提出日 2021年●●月●●日

届出者	入山年月日	支部名・リーダー名(会員番号)	目的山岳	山行形態
	2021.●.●	東京多摩支部・■山 ■子(●●●●)	奥多摩山岳	①
	リーダー住所	■■■■市		

(山行形態は次の区分番号を記入・①一般ルート、②沢登り、③岩登り、④バリエーション、⑤その他)

所属団体	公益社団法人日本山岳会 東京多摩支部 代表者(支部長) 野口いつみ					
	(所在地) 東京都西東京市田無町4-11-11					
支部緊急連絡先	安全対策委員会①090-5822-6860(石井)、②090-2498-7096(佐藤)、③080-5518-1258(中村)					
目的の山岳	日の出山(90a)					
山行目的	日帰り山行(支部会員との総登山行)					
登山日程	2021年●●月●●日(日)～ 月 日( )	宿泊等(山小屋・テント等) 日帰り				
行動日程	JR 御膳駅集合→(バス)ケーブル下→(御岳登山鉄道ケーブルカー)→御岳山駅→御岳神社→日の出山→つるつる温泉→(バス)JR 武蔵五日市駅					
下山予定日時	●●月●●日(●) ●●時●●分頃	つるつる温泉へ下山				
エスケープルート	日の出山→御岳神社、ケーブルカー御岳山駅に戻る					
メンバー	担当	会員番号	氏名	携帯電話	緊急連絡者(氏名と電話番号)	山岳保険
	L	●●●●	■山 ■子	●●●●●●●●	■山 ■男 (●●●●●●●●)	加入あり
	SL	●●●●	■川 ■夫	●●●●●●●●	■川 ■子 (●●●●●●●●)	加入あり
		●●●●	■田 ■絵	●●●●●●●●	■田 ■部 (●●●●●●●●)	加入あり
		●●●●	■木 ■太郎	●●●●●●●●	■木 ■太郎 (●●●●●●●●)	加入あり
	(男性2名、女性2名 48歳から72歳)					
装備計画	(個人装備) 雨具、マスク、ストック、ライト、健康保険証コピー (共同装備) 医薬品、10mロープ、ガスコンロセット					
食料計画	食料(昼食1食分、行動食) 飲料水(1～1.5リットル程度)					
留守番担当者	(氏名)	(関係)	(自宅電話番号)	(携帯電話番号)		
	■山 ■男	リーダーの夫	●●●●●●●●	●●●●●●●●		
計画書提出先	①東京多摩支部安全対策委員会 ②留守番担当者 ③参加者の緊急連絡者 ④管轄警察署					

◆支部緊急連絡先を下記の通りに変更した。事故が発生した場合は迅速に連絡すること。

① 090-5822-6860 (石井) ② 090-2498-7096 (佐藤) ③ 080-5518-1258 (中村)



## インフォメーション／山行・イベント

「★／★」は「体力／技術」

## 〈山行委員会 / 定例山行〉

◆(御坂) 釈迦ヶ岳 5/22(土) ★★★/★★  
御坂山塊のピラミッド。集合 / JR 石和温泉駅 08:20、石和温泉駅 = 檜峰神社入口 BT→トビス峠→神座山→釈迦ヶ岳→府駒山→すずらん群生地 (= タクシー) = 石和温泉駅、歩行 / 5 時間、申込 / 中原、締切 5/12(水)

◆平標山・仙ノ倉山 6/19(土)~20日(日) ★★★/★  
上越国境の花の山。集合 / JR 越後湯沢駅 15:00、19日 / 越後湯沢駅 = 元橋 BT→民宿(泊)、20日 / 民宿→平標山登山口→松手山→平標山→仙ノ倉山→平標山の家→(平標新道経由)→平標登山口 BT=(入浴) = 越後湯沢駅、歩行 / 8 時間、申込 / 佐藤、締切 5/31(月)

◆男体山 7/24(土) ★★★/★★  
日光連山の盟主を歩く。集合 / 東武日光駅 08:30、東武日光駅 = 志津乗越→志津小屋→男体山→二荒山神社前バス停 = 東武日光駅、歩行 / 6 時間 50 分、申込 / 小野、締切 7/17(土)

◆平ヶ岳 8/21(土)~22(日) ★★★/★★  
プリンスルートで登る秘境。集合 / 上越新幹線浦佐駅 13:30、21日 / 浦佐駅(バス) = 銀山平(送迎バス) = 湖山荘(泊)、22日 / 湖山荘 4:00 = 中ノ路登山口→玉子石→池ノ岳→平ヶ岳→中ノ路登山口 = 湖山荘→白銀の湯(入浴)→銀山平 = 浦佐駅、※送迎バスの都合上 20 名まで。歩行 / 7 時間、申込 / 清水(茂)、締切 8/4(水)

◆谷川岳 9/25(土)~26(日)  
西黒尾根コース ★★★/★★  
天神平コース ★★/★  
上信越名峰の眺望と紅葉を楽しむ。集合 / 土合の家 12:15、25日 / 土合の家→マチガ沢・一の倉沢方面散策→土合の家(泊)、26日 / (西黒尾根コース) 土合の家 05:00→西黒尾根→トマノ耳→オキノ耳→肩ノ小屋→ロープウェイ山頂駅、歩行 / 8 時間、(天神平コース) 土合の家 07:00 = ロープウェイ利用で山頂往復、歩行 / 6 時間、申込 / 濱野、締切 9/15(水)

## 〈連絡先〉

赤坂 優貴	bcr33kai98@gmail.com	090-1692-3637
鬼村 邦治	onimura@jcom.zaq.ne.jp	090-1119-0644
小野 勝昭	katuaki.ono@gmail.com	090-9014-7251
佐藤 守	jac13431@sky.plala.or.jp	090-2498-7096
清水 茂美	bunta.nanako.aitaiyo@gmail.com	090-8327-3362
副島 一義	mayu333soe@nifty.com	090-5778-7336
中原三佐代	nakahara334ron@gmail.com	090-2652-2450
濱野 弘基	gzc04344@gmail.com	090-3577-9696

## 〈山行委員会 / 平日山行〉

◆(日光) 鳴虫山 5/20(木) ★/★  
シロヤシオツツジの咲く鳴虫山。集合 / 東武日光駅 09:30、東武日光駅→神ノ主山→鳴虫山→独標→やしおの湯分岐→憾満ヶ淵→東武日光駅、歩行 / 4 時間、申込 / 佐藤、締切 5/10(月)

◆(奥多摩) 金毘羅山 6/17(木) ★/★  
アジサイの咲く山へショートハイキング。集合 / JR 武蔵五日市駅 10:10、武蔵五日市駅→薬師堂→金毘羅公園→金毘羅山→南沢アジサイ山→JR 武蔵五日市駅、歩行 / 4 時間※南沢アジサイ山入山料 500 円。申込 / 赤坂(優)、締切 6/6(日)

◆北奥千丈岳・奥千丈岳・国師ヶ岳 7/15(木) ★★★/★  
シャクナゲ咲く奥秩父最高峰。集合 / JR 塩山駅 08:20、塩山駅(タクシー) = 大弛峠→夢の庭園→北奥千丈岳→奥千丈岳→北奥千丈岳→国師ヶ岳→大弛峠 = 塩山駅、歩行 / 4 時間 50 分、申込 / 清水(茂)、締切 7/5(月)

◆高尾山 8/13(金) ★/★★  
新月の中の静かな夕涼み、蛍光ハイク。集合 / JR 高尾駅北口バス停 16:00、高尾駅(バス) = 小仏バス停→小仏峠→城山→一丁平→高尾山→高尾山ケーブル駅→京王高尾山口駅、歩行 / 4 時間、申込 / 副島、締切 8/6(金)

◆御正体山 9/16(木) ★★★/★  
道志山塊の最高峰を満喫する。集合 / 都留市駅 07:45、都留市駅(タクシー) = 三輪神社→仏ヶ沢水場→鹿留分岐→御正体山→往路を戻る、歩行 / 8 時間、申込 / 鬼村、締切 9/9(木)

## 絶滅危惧種アツモリソウ保護活動

第 10 回 保護活動(主に除草作業)に参加しませんか

共催 本部自然保護委員会

東京多摩支部自然保護委員会

日時 / 6月13日(日) ~ 14日(月)

行程 / 宿泊組 三ツ峠山荘周辺にて保護活動後、  
同山荘に宿泊

日帰組 13日のみ、保護活動後に往路を下山

集合 / 富士急行線河口湖駅

5 番「天下茶屋行」バス乗り場 9:30

参加費 / 宿泊 10,000 円 日帰り 1,000 円

募集 / 10 ~ 15 名(宿泊者)

締切 / 6月5日(土)

申込・問合せ 小河今朝美

携帯電話 080-3420-1214

magunoria.saku1234@gmail.com



## 評議員懇談会報告

支部長 野口いづみ

3月に評議員懇談会を開催の予定だったが、コロナ下を考慮し、書面で支部委員会活動を報告した。通年で委員会の活動を伝えることが出来、評議員の方から活動を把握しやすかったなどの感想があった。

## 幹事会報告 (特記事項のない委員会の報告は省略。詳細は支部 HP「会議案内」を参照)

127-129回幹事会報告出欠 (Zoom を利用した web 会議。3 回とも欠席は高橋副支部長、北島事務局長)

出席:野口支部長、佐藤幹事長、小澤 (総務)、植草 (財務)、岡田 (ICT)、高砂 (山行)、河野 (自然保護)、中村 (敦) (奥多摩 BC)、村岡、清水 (事務局員)、(監事) 小口、竹中、(127 回のみ佐久間、三ツ井財務委員、128 回と 129 回のみ石井安全対策委員長代行) 記録: 佐藤

## ■第 127 回 幹事会報告■

日時 2021 年 1 月 19 日 (火) 20:00~21:20

[野口支部長挨拶] 遭難については雪解けを待って捜索が再開される予定。

[審議事項]

(幹事長) 遭難事故の経過報告をし、質問に補足説明した。(支部長) 事務局の業務は野口、小沢、佐藤で分担。(幹事長) 10 周年記念事業「ザンスカール遠征」中止の連絡が高橋委員長からあり、事業計画書案から削除。(財務委幹事) 2021 年度予算計画案は財務委員会の案通り承認。「ザンスカール遠征」は削除して本部へ提出し、寄付金は返金、新春の集い等で集まった募金は雑収入として処理。古道調査に伴う経費は PT 予算として独立させる。(総務委幹事) PT 規程は原案通り承認。「登山教室 PT」に加えて「野火止保全活動 PT (仮称)」と「山岳古道調査 PT (仮称)」が設置される。(河野幹事) 支部サーバーについて ICT 委から資料提供を受けて検討したが、現在 Dropbox を使用している委員会の活用状況も参考として継続検討する。

[委員会等報告]

(野口、会報)「会報たま 43 号」は編集作業中。

(岡田、ICT) (野口支部長意見) 入力作業を委員 1 名で実施しているが、病気等突発事態に対応できるよう複数の委員が入力できるよう検討して欲しい。

(高砂、山行) 1 月は Zoom で例会開催。出席者は 18 名と多かった。

(河野、自然保護) 野火止保全活動は自然保護委員以外の参加者も含め 20 名になった。

(佐藤、安全対策) 委員長代行を石井副委員長が務める。登山計画書は 1 月佐藤、2 月河野、3 月中村で実施。登山計画書受理マニュアル化と受理担当者の育成を急ぐ。登山計画書に記載の安全対策委員会緊急連絡先は、石井、佐藤、河野、中村哲也とする。(野口支部長意見) 登山計画書の受理は一人ずつで実施しているが、複数人の目で計画書を見てはどうか。

(中村、BC 運営) 年末大掃除を 12 月 26 日に 9 名で実施。新春 BC 開きは中止。

(河野、登山 PT) 第 8 期初級登山教室のスケジュールを決定。

[連絡事項]

(幹事長)「ザンスカール遠征」が中止になったので、10 周年記念事業委員会の目的が終了する。高橋委員長に意向を聞き、今後について審議したい。

[監事] (竹中) 年末年始は遭難の件で大変だったと思う。事故は絶対に起こさないよう、安全対策委員会でも会員を啓発してほしい。(小口) コロナウイルスによる影響がいつまで続くかわからないが、しっかりと支部を運営してほしい。

## ■第 128 回 幹事会報告■

日時 2021 年 2 月 16 日 (火) 20:00~22:10

[野口支部長挨拶] 1 月 30 日に支部連絡会議があった。コロナで事業に影響が出ているが、岩手支部は行事を予定通り実施しているとのことだった。

[審議事項]

「山岳古道調査 PT」(石井) は代表石井秀典、副代表守屋龍男・吉川三鈴、設置期間 2021 年 2 月 16 日~2025 年 10 月。「野火止保全活動 PT (河野) は代表河野悠二、副代表岡田陽子、設置期間 2021 年 2 月 16 日~2031 年 3 月。PT は事業計画・予算等について委員会と同様に取り扱い、幹事会で活動報告する。(財務委幹事)「ザンスカール遠征」への寄付者の一部から、返金は不要との申し出があった。本部財務担当理事に相談したところ、一般寄付として取り扱って良いとの了解を得た。(山行委幹事) 定例・平日山行に関するアンケートの実施について説明。送付と回収について種々の提案があり、次回幹事会で決定する。(総務委幹事) 国分寺駅北口再開発後に提供されるブースを使い、会員募集活動をしたい。自然保護や登山に係る団体、登山用品店などに共同出店を働きかけたい。(幹事意見) 支部も展示や装飾などの集客に寄与するための企画や、支部として具体的に何をやるのかなど、内容を検討する必要がある。

[委員会等報告]

(事務局) 都岳連の通常総会は 5 月 25 日で、役員改選が予定されている。

(植草、財務) 2 月会報にザンスカール寄付金返還の案内を同封した。

(小澤、総務) 4 月 4 日新人会員交歓散策を山開きと切り離して実施、5 月 16 日支部総会、6 月 24 日新入会員オリエンテーション、7 月 17 日山岳活動の公告・勧誘イベント、8 月 28 日懇親ビアパーティ、1 月 22 日新春の集いを予定。

(野口、会報)「会報たま 43 号」は 2 月 7 日配送、10 日にメール配信と HP アップ。3 月で準会員期間が満了する会員への正会員への移行お誘い文書を同封した。

# 会務報告

(河野、自然保護) 4月春の自然保護観察、雲取山石尾根登山道整備、6月身近な水環境の全国一斉調査、6月三つ峠アツモリソウ保護活動、8月御岳山レンジショウマ観察会、9月自然保護講演会、12月～2月野鳥観察会を予定。野火止保全活動活動は自然保護委から独立して活動する。

(石井、安全対策) 佐藤委員が複数の委員を対象に受理手続きの研修をマンツーマンで実施する。8月8日山の日安全登山呼びかけ活動、12月15日山岳遭難事故発生時の遭難対策本部対応シミュレーション研修。支部会員に対する安全登山啓発を会報、HP、メルマガ等を通じて行う。

(中村、BC運営) 8月7日生ビールを呑んで花火を観よう会、8月11日(山の日)～多摩百山展、11月27日芋煮会と錦秋の奥多摩散策、12月25日BCすす払いと小屋締め。

(河野、登山PT) 中級登山教室と第8期初級登山教室の間で日程調整を行う。支部PT規程の制定に伴い、PT代表は宮崎総括リーダー、PT担当幹事は河野幹事が継続。

(佐藤、10周年記念事業) 高橋委員長から委員会は「総括・反省・慰労を兼ねた最終会合を6月から7月頃に開催する」との書面による連絡があった。

[監事] (小口) 遭難事故については遭難対策本部長以下速やかに動いてくれたこと、本部会報・支部報などでの周知も良かった。

## ■第129回 幹事会報告■

日時 2021年3月16日(火) 20:00～22:08

[野口支部長挨拶]

緊急事態宣言が延長になり3月21日以降の解除予定についても不透明な状況にある。昨年も3月末以降感染者が増えており、予断を許さない。

[審議事項]

(総務委幹事) 総会を5月16日(日)13時～JR国分寺駅リオンホールで開催準備中。Zoom併用を検討。総会議案書の作成を確認。総会案内状の発送は4月24日を予定。総会資料作成者は4月17日までに山本(前事務局長)に送付する。封入物のある山行委、財務委は総務委と作業の内容・分担等を調整する。4月4日に新入会員交歓散策(愛宕山)を実施。BCで飲食をしない。(財務委幹事)「ザンスカール遠征」への寄付金のうちの237,500円を2021年度予算の一般会計で受け入れ、寄付者の希望によって、若手会員の育成や安全対策を主な目的として使用する。

会員数 1～3月(総務委員会) (人)

	総会員	通常会員	準会員	会友
1月末日	317	232	84	1
2月末日	314	232	81	1
3月末日	311	231	79	1

会員移動 1～3月(総務委員会)

月	入退会	人数	名前(会員番号)
1月	入会	1名	西中智恵子(A0360)
	退会	4名	山川陽一(12946)、長尾律子(13901)、松本武(A0053)
2月	退会	3名	佐藤文良(A0166)、金有榮(A0121)、関根能男(A0122)
3月	入会	2名	佐野豪昭(16707)、栗城幸二(16701)
	退会	5名	松本恒廣(7440)、井口智博(11185)、白川梓(15645)、指田久子(A0061)、長田晴人(A0341)

BC利用状況  
(BC運営委員会)  
BCは使用者がいなかったために省略

[委員会等報告]

(小澤、総務) 新入会員オリエンテーションを6月24日小金井市萌え木ホールで開催。

(野口、会報) 「会報たま44号」は16頁を予定。担当幹事は野口から村岡に交替の予定。

(高砂、山行) 1月～3月の定例・平日山行は中止。

(河野、自然保護) 春の自然保護観察会を4月22日に長沼公園で実施。三つ峠アツモリソウ保護活動を6月13～14日に本部自然保護委員会と合同で実施する。三つ峠アツモリソウ保護活動のマニュアルを作成した。他の活動もマニュアル化を促進。

(石井、安全対策) 登山計画書は4月佐藤、5月河野で受理。支部緊急連絡先は石井・佐藤・中村の3名とする。(野口支部長意見) 「登山計画書の作成講習会や、新入会員オリエンテーション時の講習はどうか」。佐藤安全対策委から、遭難対策本部会議開催の提案があったが、野口遭難対策本部長は、「会議の開催はやぶさかではないが、警察・家族等の情報を待って検討する」との考えを示した。

(中村、BC運営) 新入会員交歓散策は奥多摩町の意向を受けBCでの飲食の禁止を申し入れた。(河野、登山PT) 第8期初級登山教室対象者26名に対しアンケートし、参加希望21名、辞退5名。登山講座「山の天気」4月11日とリーダー研修会を3月27日に開催。

(河野、野火止保全PT) 1月以降の東京都の作業は各種伐採、3月はロープ柵の一部設置、消耗品等の納品。春の野火止観察会は5月15日。2021年度の定例作業日は第二日曜日と第四火曜日実施し、運営会議を第四火曜日の作業後に開催。

[監事] (竹中) コロナ下でも支部運営に努力してもらった。今後も緊張感を持って取り組んでほしい。(小口) 新会員に会を好きになってもらえるよう期待している。

[追加発言] (総務委幹事) 新春の集いの講演者を推薦してほしい。(財務委幹事) 委員の退任者が多いので補充が喫緊の課題である。

登山計画書受理・検討件数(安全対策委員会)(件)

月	支部山行	同好会山行	個人山行	合計
1月	0	0	2	2
2月	0	0	4	4
3月	2	0	7	9
1-3月合計	2	0	13	15

2020年度会費入金状況(財務委員会)(人数)

	入金者数	未入金者数	備考
1月	307	17	320(入金後退会4)
2月	312	14	321(入金後退会5)
3月	320	7	321(入金後退会6)

## カレンダー (2021年5月～2021年8月)

日程	山行	イベント (会合・講座など)
5/8(土)A/22(土)B	8期初級登山教室「棒ノ折山」	
5/16(日)		支部総会 13:30(国分寺)
5/20(木)	平日山行「鳴虫山」	
5/22(土)	定例山行「釈迦ヶ岳」	
5/29(土)～30(日)	中級登山教室「富士山雪上訓練」	
6/5(土)A/12(土)B	8期初級登山教室「日の出山」	
6/17(木)	平日山行「金比羅山」	
6/19(土)～20(日)	定例山行「平標山・仙ノ倉山」	
6/19(土)～20(日)	中級登山教室「八ヶ岳縦走」	
6/24(木)		新入会員オリエンテーション
7/15(木)	平日山行「北奥千丈岳、奥千丈岳、国師ヶ岳」	
7/15(木)		8期初級登山教室講座 (医療)
7/24(土)	定例山行「男体山」	
7/24(土)～25(日)	中級登山教室「鳳凰三山」	
8/7(土)		生ビールを呑んで花火を観る会
8/7(土)A/28(土)B	8期初級登山教室「大菩薩嶺」	
8/13(金)	平日山行「高尾山一蛍光ハイク」	
8/21(土)～22(日)	中級登山教室「剣岳」	
8/21(土)～22(土)	定例山行「平ヶ岳」	

コロナ禍により変更がありますので、実施の有無を確認してください

## 会報委員会からのお知らせ

- ・次号 45号は8月初めに発行予定です。
- ・原稿の締め切りは6月末。
- ・原稿は最近の会報を参考に、書式を合わせてください。
- ・写真は500KB以上のサイズでお願いします。
- ・執筆者と撮影者の名前も、お書きください。
- ・山行報告(ミニレポなど)、エッセイ、書評なども歓迎。
- ・会報のメール配信を希望される会員を募っているので、[ttm@jac.or.jp](mailto:ttm@jac.or.jp)へお申し込みください。



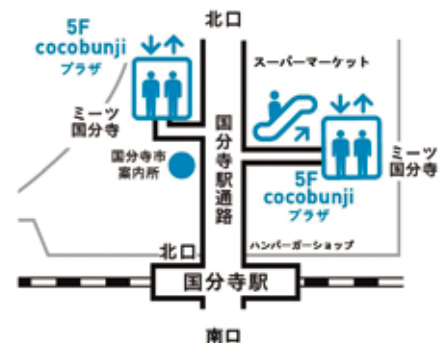
## 支部総会のご案内

2021年度通常総会が開催されますので、ご参加ください

- 日時 5月16日 13:30～
- 会場 国分寺市立 cocobunji WEST 5階  
リオンホール (A)  
国分寺駅北口 国分寺市本町 3-1-1
- 議案 2020年度事業・収支決算報告(案)  
2021年度事業計画・予算・役員人事(案)
- 開催形式 リアル会議とZoomによるオンライン会議の併催  
一般の会員は50名がリアル会議に参加できます



Cocobunji (ココブンジ) は国分寺駅北口すぐ



**編集後記**◆皆さまはGWをいかがお過ごしでしたか。コロナウイルス変異型の感染拡大が懸念されますね。どなたも程度の差こそあれ、活動に制限を受けたことでしょう。国内のワクチン接種が1日も早く行きわたり、なんの心配もなく、以前のように山へ行ける日が早く来ますように！(野口いづみ)

会報 **たま** 第44号 2021年5月10日発行  
発行所 公益社団法人日本山岳会東京多摩支部  
〒188-0011 東京都西東京市田無町4-11-11  
[izumi\\_noguchi@yahoo.co.jp](mailto:izumi_noguchi@yahoo.co.jp)  
会報委員会 野口いづみ、村岡庸子、石川さとみ  
川崎真琴、吉川三鈴  
SP 櫻井美奈子、嶋田恵美子


ジロー **JRO** は国内唯一の山岳遭難対策制度™です  
ハイキングから雪山登山までOK。捜索救助費用(550万円限度)に特化した会員制度です。病気遭難も対応!!

入会のお申し込みは ジローリエゾンセンター(平日10時～17時)  
TEL. **03-6273-1521**  
[www.sangakujro.com](http://www.sangakujro.com) 日本山岳救助  

日本山岳救助機構合同会社 Japan Rescue Organization LLC

SINCE 1975 **mont·bell**

ウェア・ギアに遊び心もそろえてお待ちしています

モンベルウェブサイト [www.montbell.jp](http://www.montbell.jp) 

株式会社 **モンベル**  0088-22-0031  06-6536-5740